

今月のよっしー

今年「総合診療元年」です。当プログラムで研鑽を積んできた三浦拓先生が研修を修了しますし、4月から新しい制度下での専攻医が1名スタートする予定です。これで2015年から積算で5名がこの道で研鑽を積むことになります。地域は、時代は総合診療医・家庭医を求めています。学びのパイプライン構築をさらに拡充していきたいと考えています。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



吉村 学教授

連載企画

臨床実習病院・診療所紹介「島田内科胃腸科」

島田内科胃腸科 院長 島田 雅弘 先生

4年程前に長田前教授より、日南市内のクリニックで学生を1日預かってもらえないかとの話がありました。医学的な事は教える自信は無いものの、先生方の背中を見せて頂くだけで勉強になりますと言われ、実習費用は頂かず志だけでお受けしました。当院でいえば、血圧測定を手伝ってもらい、診察上所見があれば、患者さんの許可を受けた上で診察させていただきます。また再診患者さんの問診も手伝ってもらっています。大学病院と違って患者さんとの距離感が近く、世間話も彼らにとっては新鮮なようです。学生は皆真面目ですが、やはり一人一人個性があり、若者の考え方を知る良い機会となりました。また人に教える事で知識を再認識する事も多く、自分の課題も見えてきました。クリニックでの実習が日南市以外でも広がっていると聞きしていますが、自分の為にもなり、より多くの先生方に参加していただける事を心より願っています。



講座スタッフ紹介②



助教 早川 学

皆さん、こんにちは。地域医療・総合診療医学講座の早川と申します。

本講座が創設された時に入局させていただき、その後串間市民病院・県立日南病院と勤務して参りました。まだまだ成長過程ではありますが、現在も「最強の総合診療医」を目指して日々の業務に邁進している次第です。赤ちゃんの予防接種・定期健診から高齢者のお看取りまでをこなし、診療所で働きながら在宅医療を行える能力を身に付け、またある時は地域の基幹病院で勤務できる専門性を発揮する。さらに、学生から後期研修医まで適切に教育できる教育力を養い、チームのリーダーとして多職種と連携しながら医療を展開することができる。そんな総合診療医になれたらいいなあ・・・

オレゴン健康科学大学の家庭医療学講座を視察して その4

宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座 講師 松田 俊太郎

“地域医療” とくに “へき地の地域医療” は、医師としてやりがいのある素敵な仕事ですが、どうしてもマスクミの影響なのか、“地域医療” の次には、“医療崩壊”、“医師不足”などの暗い言葉が付きまといまいます。私は、宮崎大学で地域医療を教える教員と地域医療を実践する一医者を兼務していますが、医学生と一緒に患者を診ながら思うこととして、「困った人を助けるお医者さんになりたい！」とシンプルなイメージを持って医学部に入学した学生は、6年間の中で、何らかの領域の医療技術を極めた“専門医”がかっこよくみえて、憧れるようになっていくことを実感します。現在の日本の医学教育の実情を考えると、臓器別または医療技術により分けられる“専門医”、つまり“なんとか医”と自分があてはめられることが、医師として仕事をしていくうえでの枠組みをつくっていくのだと思います。

しかし、オレゴン健康科学大学の家庭医療視察研修旅行に参加する機会を得て、その研修の中で、クラマスフォールズという小さな田舎町の医療を見学して、地域医療のイメージが変わりました。この田舎町で、日本ではなかなかなじみのない専門分野である家庭医療を専攻することを自ら希望して、アメリカ中から多数の専攻医が集まり、仕事も生活も楽しんでいる姿をみて、地域医療の原点を再度考え直す機会になりました。家庭医療の中でのかなり重要な言葉として、“地域医療”は地域住民全体の幸福を常に考えながら行う医療で、その地域で



▲クレターレイク国立公園

自分も生活していく中で、その地域の幸福を総合的に考えて、必要なことを展開していく、という仕事をかっこよく楽しんでいる——これには驚きました。そして、地域医療をかっこよく実践している姿には、うらやましさも覚えました。これからの地域医療の発展のためには、かっこいい“地域医療”のイメージが保てるようにしていく工夫が必要と考えています。

ごちゃまぜ師養成講座 終了しました。

平成29年度文部科学省「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」受託事業として、今年度9月から実施してきた多職種連携教育コーディネーター「ごちゃまぜ師」養成講座は12月9～10日のDay 4～5（合宿形式）を無事終了することができました。合宿には県内各地から看護師、社会福祉士、保健師、薬剤師、視能訓練士、PT、OT、MSW、PSW、行政職員、ケアマネ、技師、看護教員、福祉関係職員など総勢47名の参加をいただき、各地域でのチームを組み、「私たちの地域のIPEをデザインする」をテーマに、IPEプランを立てていただきました。私たちの地域にどのような課題があるか、どのようにしたら解決していけるか、最終的に12チームの特色あるプランが完成し、発表してもらいました。どのチームもDay 1～Day 4の講義で学んだことがしっかりと活かされたプランで、そこにはたくさんのやる気と笑顔があふれていました。

参加していただいたみなさん、5日間お疲れ様でした！これから一緒に頑張っていきましょう。



講座のイベント情報

●第2回宮崎県総合診療フォーラム

2/16(金) 18:00～21:30

場所：宮崎・ガーデンテラス宮崎ホテル&リゾート
内容：

- ①講演：東京医療センター総合内科医師
教育研修部臨床研修科医長
臨床疫学研究室長 尾藤 誠司先生
- ②各基幹病院プログラム紹介と今後の展望
宮崎県立宮崎病院、古賀総合病院、
宮崎生協病院、宮崎大学
- ③ディスカッション
- ④懇親会（20:00～21:30）

参加費：無料

懇親会費：4,000円（学生、初期研修医無料！）

●レジデントデイ

1/26(金) 18:00～ 場所：日南・油津Yotten

2/23(金) 18:00～ 場所：串間市民病院

●平成29年度臨床実習報告会

3/2(金) 19:00～ 場所：ニューウェルシティ宮崎

※詳細はホームページやFacebookに順次アップします。

宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200 TEL:0985-85-9809 FAX:0985-85-9805

E-Mail : chiikiiry@med.miyazaki-u.ac.jp URL <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/community-medicine/>

